

## 2. 「酪農フィールド科学演習」について

### (1) 受講生によるアンケート評価

受講者人数:計39名

#### I 本取組に関する共通の質問

##### I-1【属性について】

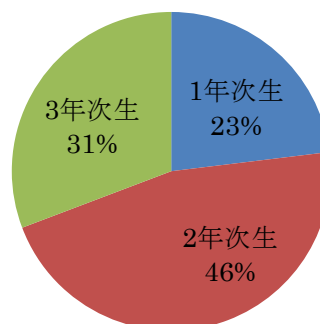
- ・ 本演習は他大学農学系学部生および広島大学生物生産学部3年生を対象とした演習である。本年度は中国・四国地区から7国公立大学、近畿地区から1公立大学の農学系学部から受講生が参加した。
- ・ 受講生の半数近くが2年次で、また9割が女子であった。
- ・ これまでにフィールド関連の教育を経験したことがあると回答した受講生は5割程度いたが、その中で畜産系のフィールド教育を経験した者はごく少数であった。本年は近畿地区の大学や獣医学系の学生の参加も認められたことから、本演習は、中四国だけでなく全国的に求められているものであり、また、獣医学系のフィールド教育としても今後貴重な存在になるものと考えられた。

##### I-1-1) 所属大学・学部（コース等）

- ・ 広島大学 生物生産学部 生物生産学科：9名
- ・ 岡山大学 農学部 総合農業科学科：7名
- ・ 鳥取大学 農学部：7名
  - （生物資源環境学科：6名
  - 獣医学科：1名）
- ・ 愛媛大学 農学部 生物資源科学科：6名
- ・ 高知大学 農学部 農学科：5名
  - （生物機能科学科：1名
  - 獣医学科：1名）
- ・ 山口大学 農学部：2名
- ・ 大阪府立大学 生命環境科学部 獣医学科：1名
- ・ 県立広島大学 生命環境学部 環境科学科：1名
- ・ 島根大学 生物資源科学部 農林生産学科：1名

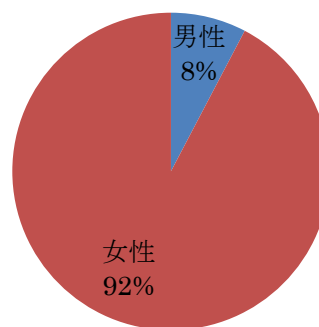
##### I-1-2) 学年

- ・ 1年次生：9名
- ・ 2年次生：18名
- ・ 3年次生：12名



### I-1-3) 性別

- ・男性：3名
- ・女性：36名

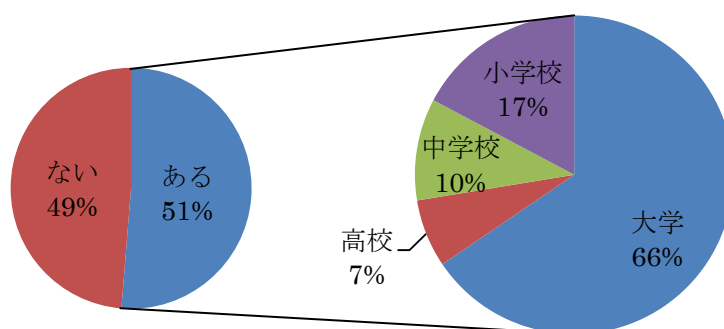


### I-1-4) この演習以外に、これまでにフィールドを利用した授業を受けた経験があるか

ある：20名, ない：19名

#### I-1-5) それほどの時期か(複数可)

- ・大学：19名
- ・高校：2名
- ・中学校：3名
- ・小学校：5名



#### I-1-6) 授業の内容

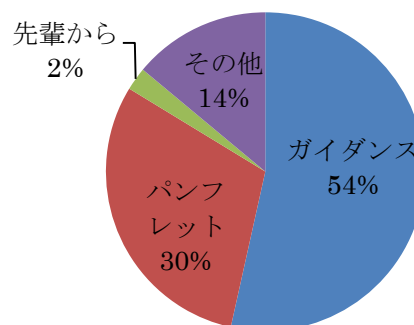
- ・農場実習（広島大学）
- ・演習林実習、ネイチャーゲーム、四国遍路（大学）
- ・地域の建造物の調査（中学校）
- ・自然の中でオリエンテーリング（中学校）
- ・イモ掘り、地域の川調べ、田植え、自然の家（小学校）
- ・林で測定実習、農業インターン、サル追い、シュノーケリング、花壇作り、シカネット設置、限界集落訪問、自然観察・地震について考える
- ・森林の調査
- ・牧場実習、ウシのボディインデックス調査
- ・森林実習（木の枝打ち、森林調査）、農業演習（みかん）
- ・トウモロコシの栽培
- ・農学部の8コースの体験（国際、自然、暖農、森林、海洋、食料、流域、生命）
- ・田植え、磯の回収、木の伐採
- ・下水処理の見学
- ・稲刈り
- ・肉牛の飼育

## I-2 【この授業に参加するにあたっての情報入手について】

- ・本演習を知るきっかけは、昨年と同様に「ガイダンス」と「パンフレット」の合計が全体の8割以上を占めていた。

### 授業のことを、何を通して知ったか（複数可）

- ・ガイダンス：23名
- ・パンフレット：13名
- ・先輩から：1名
- ・ネット：該当者なし
- ・その他：6名
- ・無回答：1名

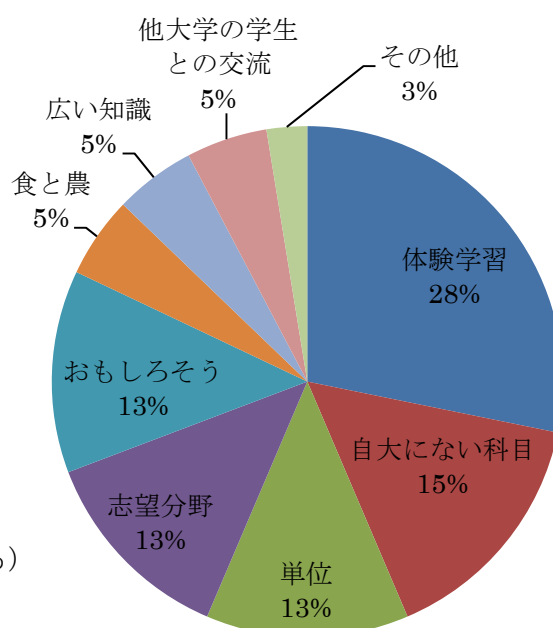


## I-3 【この授業に参加された理由について】

- ・最も強い受講動機は「体験学習だから」で、全体の3割程度を占めていた。次いで、「自分の大学には無い授業科目だから」、「現在の志望分野に関係するから」、「単位が取得できるから」、「おもしろそうだから」が各1割程度見られ、受講生はそれぞれ明確な目的を持って参加していた。前年は単位取得目的の受講生が全体の2割程度と一番多く見られたのに対して、本年は体験学習の機会として本演習を捉えている受講生が最も多く、学生の食農教育に対する意識が高まっているものと推察された。

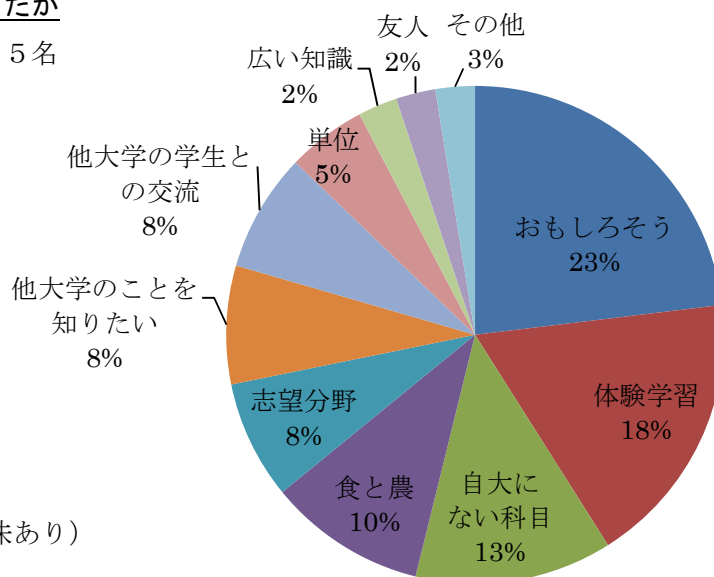
### I-3-1) 最も強い動機はどれだったか

- ・自分の大学には無い授業科目だから：6名
- ・体験学習だから：11名
- ・単位が取得できるから：5名
- ・現在の志望分野に関係するから：5名
- ・食と農について学べるから：2名
- ・広い知識を得たいから：2名
- ・他大学のことを知りたいから：該当者なし
- ・他大学の学生と交流できるから：2名
- ・友人が参加するから：該当者なし
- ・おもしろそうだから：5名
- ・その他（自由記述）：1名（自分の成長につながる）



### I-3-2) 二番目に強い動機はどれだったか

- ・自分の大学には無い授業科目だから：5名
- ・体験学習だから：7名
- ・単位が取得できるから：2名
- ・現在の志望分野に関係するから：3名
- ・食と農について学べるから：4名
- ・広い知識を得たいから：1名
- ・他大学のことを知りたいから：3名
- ・他大学の学生と交流できるから：3名
- ・友人が参加するから：1名
- ・おもしろそうだから：9名
- ・その他（自由記述）：1名（牧場に興味あり）

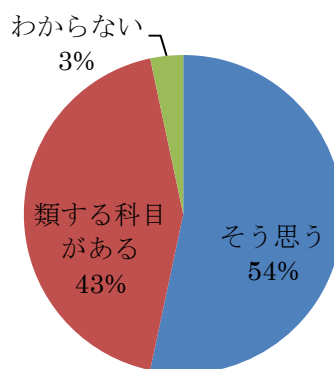


### I-4 【広島大学で授業を受けた感想】

- ・他大学からの受講生は39名中30名であったが、その過半数が本演習の内容を自分の大学にはない授業として捉えていた。
- ・4割程度の学生は自分の大学にも類似したフィールド教育があるのにも関わらず、本演習を肯定的に捉えていたことから、本大学の有する設備と施設を有効に活用した本演習の内容に満足しているものと推察された。
- ・他大学のすべての受講生が本演習を受講したことについて良い経験であったとみなしていた。

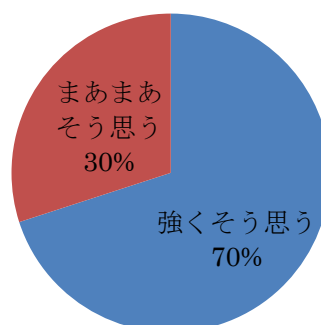
#### I-4-1) 今回受講したフィールド教育に類する授業は、自大学にはない科目・内容だった

- ・そう思う：16名
- ・自分の大学にも類する科目がある：13名
- ・わからない：1名



#### I-4-2) 他大学の先生の授業を受講できて良かった

- ・強くそう思う：21名
- ・まあまあそう思う：9名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

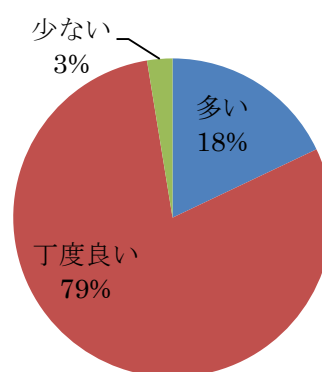


## I-5 【他大学の学生との交流等について】

- ・ 約8割の学生が今回の受講者数（定員数30名に対して39名）について適当であると考えていたが、残りの2割は「多い」と回答したので、多数の受講希望者には配慮しつつ、これ以上の人数増は可能な限り避ける必要がある。
- ・ 複数大学の学生間で十分な交流を図れるようにするために、演習中の行動単位となるグループ分けはすべて複数大学の学生で構成するように配慮した。
- ・ すべての受講生は他大生との交流の機会が増えることに対して前向きに捉えており、本演習を通じた交流についても満足していた。

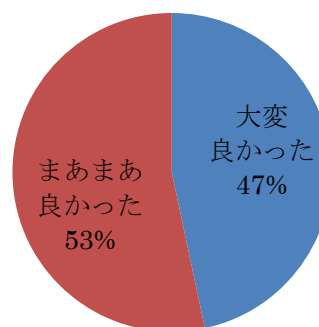
### I-5-1) この授業は定員30名に制限しています（今回は39名です）。この定員数について

- ・ 多すぎる：7名
- ・ 丁度良い：31名
- ・ 少なすぎる：1名



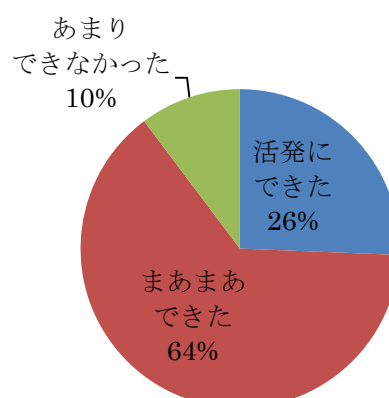
### I-5-2) 他大学の学生と同じ授業を受けたことについて

- ・ 大変良かった：14名
- ・ まあまあ良かった：16名
- ・ あまり良くなかった：該当者なし
- ・ 悪かった：該当者なし



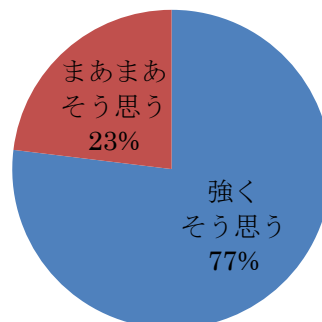
### I-5-3) 他大学の学生と交流がどの程度できたと思うか

- ・ 活発にできた：10名
- ・ まあまあできた：25名
- ・ あまりできなかった：4名
- ・ 全くできなかった：該当者なし



#### I-5-4) 今後も、他大学の学生との交流機会を増やすのは良いことだ

- ・強くそう思う：30名
- ・まあまあそう思う：9名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

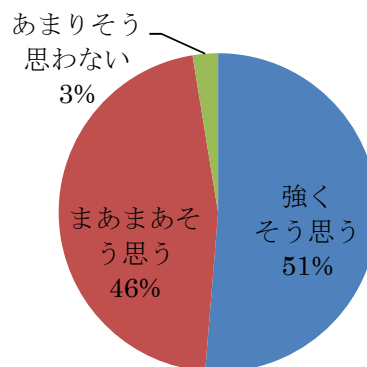


#### I-6 【この授業は、4日間の集中形式で、講義、実習、発表の3部から構成されている】

- ・ほぼ全ての受講生が本演習の授業形式（講義+実習+発表）による学習を理解し易いと感じていた。
- ・3泊4日の実施期間については、8割以上の受講生が「丁度良い」と回答していた。

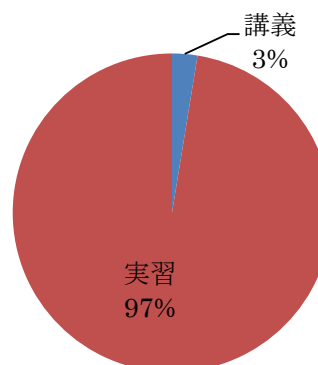
#### I-6-1) こうした組合せは、授業を理解する上で有効である

- ・強くそう思う：20名
- ・まあまあそう思う：18名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



#### I-6-3) 3つの部分のうち、最も面白かったもの

- ・講義：1名
- ・実習：38名
- ・発表：該当者なし



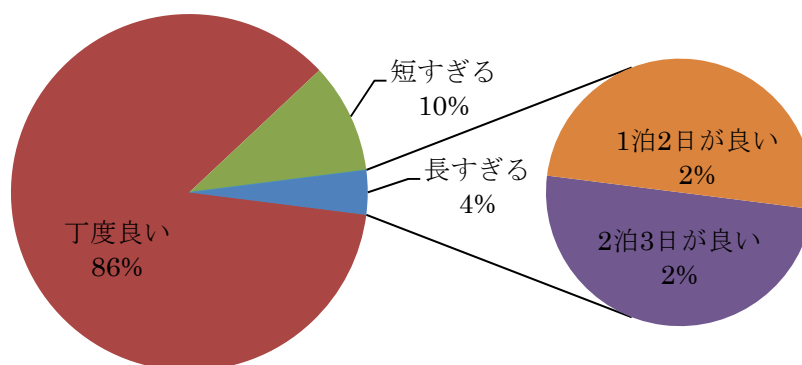
#### I-6-3) 3泊4日の日数について

- ・長すぎる：2名



#### I-6-4) 何日間なら良いか

- ・1単位になっても1泊2日が良い：1名
- ・1単位になっても1泊3日が良い：1名
- ・丁度良い：33名
- ・短すぎる：4名

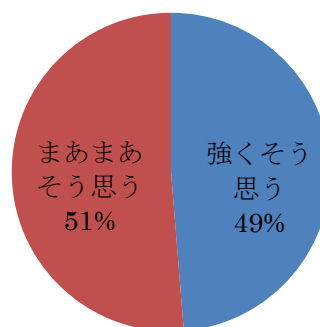


### I-7 【参加費に関して】

- ・ 昨年度は受講生の多くが食事に関する不満を挙げていたことから、今年度は食事内容を見直して質と量が値段に見合うように検討した。その結果、今年度は9割近くの受講生が食事内容に「満足できた」と回答していたことから、明らかな改善効果が認められた。
- ・ 今年度は女子の割合が非常に高いことに配慮して、入浴は本大学の宿泊施設の小さな風呂ではなく（待ち時間がかかりかかる）、外部の施設（スーパー銭湯：往復バスによる送迎）を利用した。入浴費は、他の費用を調整することで参加者の負担にならない程度の参加費（7,300円）の増額で済んだ。
- ・ 多くの受講生は今回の参加費（実費）で提供された宿泊施設および食事に対して満足していたことから、次年度以降もこの水準を落とすことのないように努力したいと考えている。

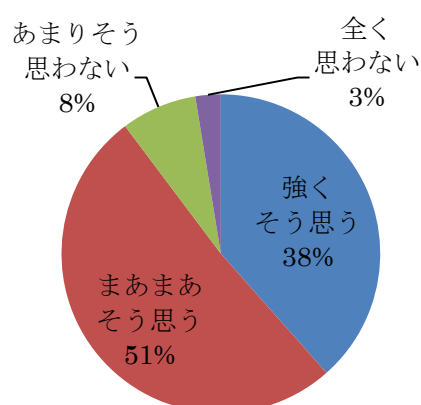
#### I-7-1) 自分の得たものを考えると参加費は妥当か

- ・ 強くそう思う：19名
- ・ まあまあそう思う：20名
- ・ あまりそう思わない：該当者なし
- ・ 全く思わない：該当者なし



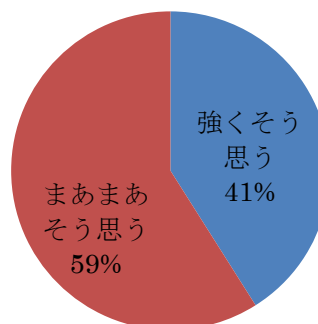
#### I-7-2) 参加費（実費）から考えて、食事は満足できたか

- ・ 強くそう思う：15名
- ・ まあまあそう思う：20名
- ・ あまりそう思わない：3名
- ・ 全く思わない：1名



### I-7-3) 参加費(実費)から考えて、宿泊施設には満足できたか

- ・強くそう思う：16名
- ・まあまあそう思う：23名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



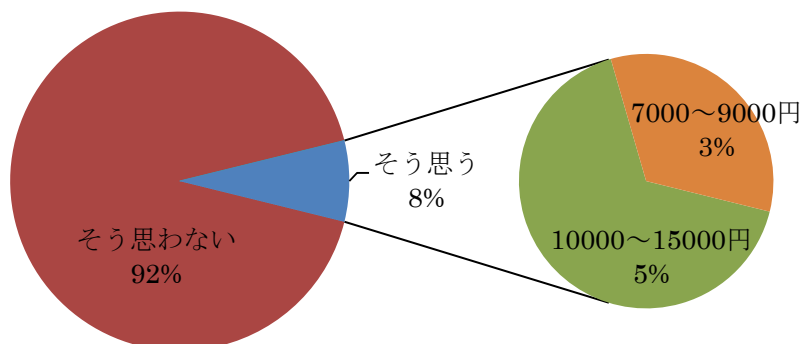
### I-7-4) 参加費(実費)をもっと高くしても食事と宿泊施設を良くしてほしいか

- ・そう思う：3名



### I-7-5) 参加費(実費)がどの程度までなら参加するか

- ・7,000～9,000円：1名
- ・10,000～15,000円：2名
- ・16000～20,000円：該当者なし
- ・21,000～25,000円：該当者なし
- ・そう思わない：36名



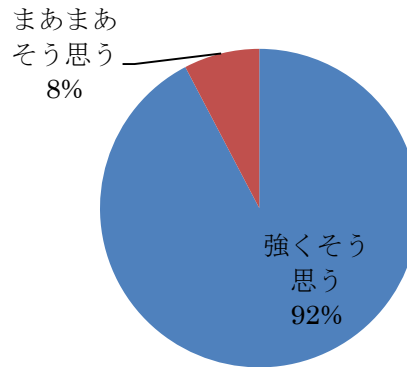
### I-8 【食農フィールド科学演習全体について】

- ・本演習を通して、すべての受講生がフィールド科学教育の面白さや関連した分野に対する興味の高まりを感じており、農学に対する深い理解を持ち、食料生産に対して広い視野が持てるようになったと考えていた。
- ・9割以上の受講生が自分自身の行動の積極性が高まったと感じており、今後も「食」と「農」に対して関心を持ち続けたいと強く思うようになっていた。
- ・グループ単位の活動では多くの受講生がチームワークやコミュニケーション能力の高まりを感じていたが、リーダーシップの発揮についてはグループリーダーを決めていたこともあり、肯定的な意見は3割程度に留まった。
- ・本演習の受講経験は今後の他のフィールド教育への参加意欲を高めることにつながっており、演習全体の感想からは、概ね全ての受講生が自身の期待通りもしくはそれ以上の学びを達成できたものと考えられた。



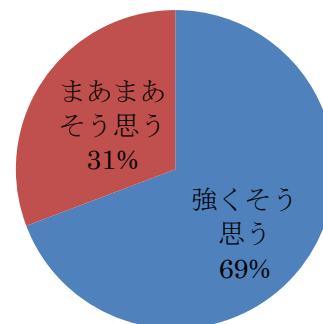
I-8-1) このフィールド科学演習の形式は通常の講義だけの授業よりも、物事を考える上で、有意義である

- ・強くそう思う：36名
- ・まあまあそう思う：3名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



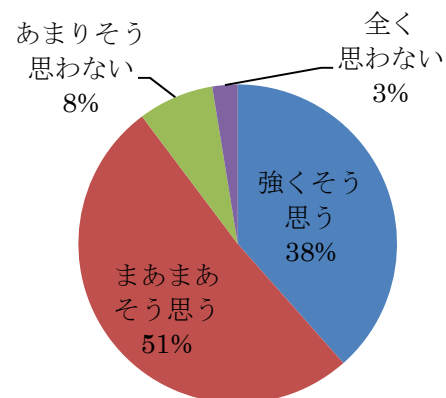
I-8-2) この演習によって、フィールド科学の幅広さや面白さを知った

- ・強くそう思う：27名
- ・まあまあそう思う：12名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



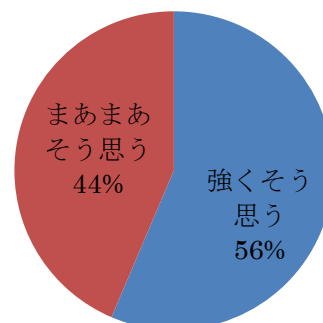
I-8-3) 今回の演習を受講してこの分野についてもっと知りたくなった

- ・強くそう思う：15名
- ・まあまあそう思う：20名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：1名



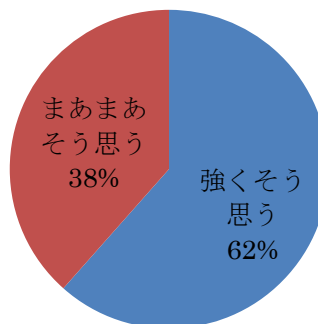
I-8-4) この演習によって、農学系学問分野（食と農の関わりを含む）への理解が深まり、視野を広く持てるようになった

- ・強くそう思う：22名
- ・まあまあそう思う：17名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



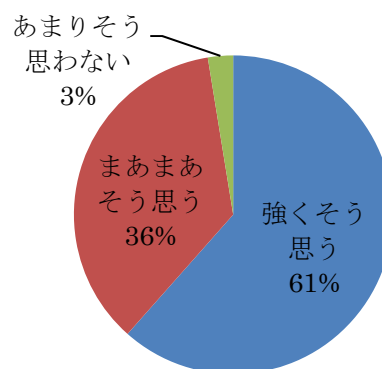
I-8-5) この演習によって、食べ物と命の関連性について考えるようになった

- ・強くそう思う：24名
- ・まあまあそう思う：15名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



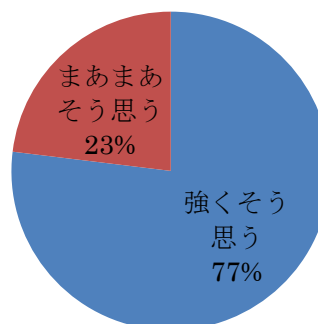
I-8-6) この演習によって、食料生産の重要性について考えるようになった

- ・強くそう思う：24名
- ・まあまあそう思う：14名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



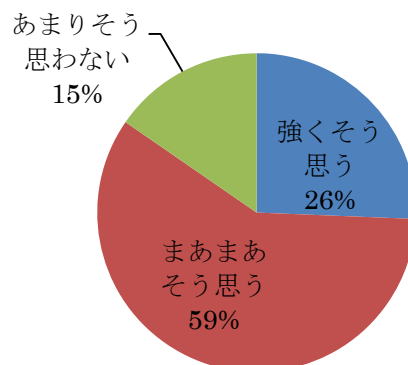
I-8-7) この演習によって、今後も食と農に対して関心を持ち続けたいと思うようになった

- ・強くそう思う：30名
- ・まあまあそう思う：9名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



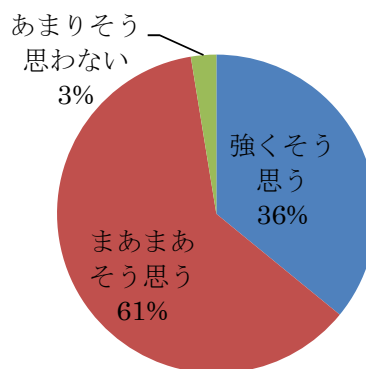
I-8-8) この演習によって、自分なりに行動力や積極性を高めることができた

- ・強くそう思う：10名
- ・まあまあそう思う：23名
- ・あまりそう思わない：6名
- ・全く思わない：該当者なし



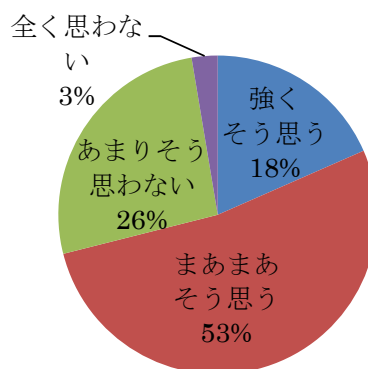
I-8-9) この演習によって、これからの学習意欲が高まった

- ・強くそう思う：14名
- ・まあまあそう思う：24名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



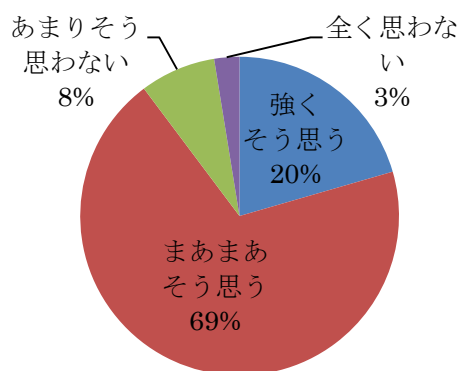
I-8-10) 他大学の学生と交流することによって、コミュニケーションスキルが高まった

- ・強くそう思う：7名
- ・まあまあそう思う：20名
- ・あまりそう思わない：10名
- ・全く思わない：1名



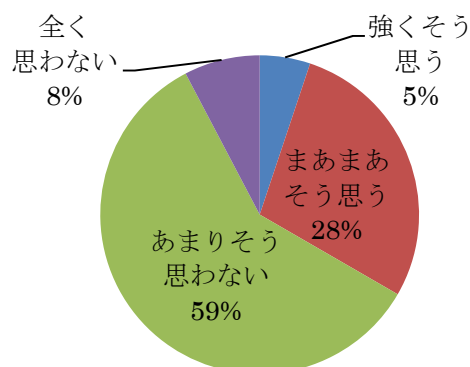
I-8-11) グループ単位の実習によって、チームワークに対する意識が高まった

- ・強くそう思う：8名
- ・まあまあそう思う：27名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：1名



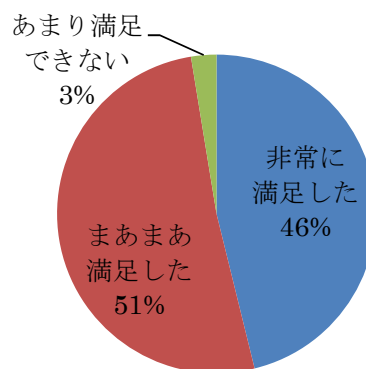
I-8-12) グループ単位の実習によって、リーダーシップをとる力が高まった

- ・強くそう思う：2名
- ・まあまあそう思う：11名
- ・あまりそう思わない：23名
- ・全く思わない：3名



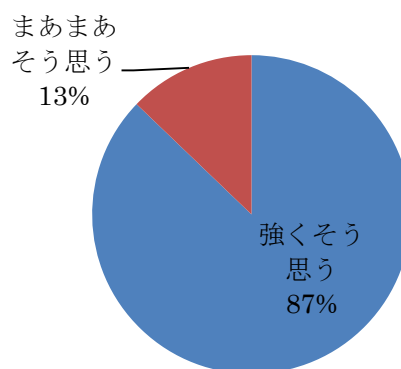
### I-8-13) 参加する前の期待度に比べて満足度はどうか

- ・非常に満足した：18名
- ・まあまあ満足した：20名
- ・あまり満足できない：1名
- ・全く満足できない：該当者なし



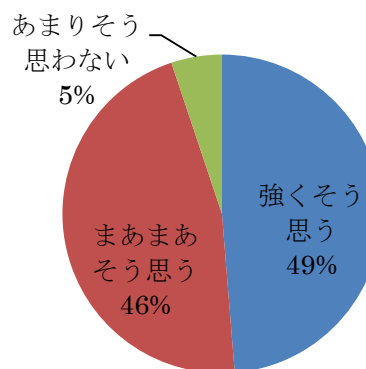
### I-8-14) この演習を来年度以降も開講するのが良い

- ・強くそう思う：34名
- ・まあまあそう思う：5名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



### I-8-15) 今回の演習を受講して後輩にも勧めたいと思ったか

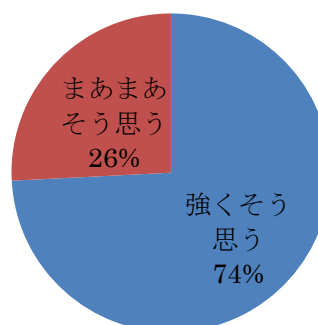
- ・強くそう思う：19名
- ・まあまあそう思う：18名
- ・あまりそう思わない：2名
- ・全く思わない：該当者なし



## I-9 【その他】

### I-9-1) フィールド科学演習以外にも他大学の講義を受講できる機会をもっと増やして欲しいか

- ・強くそう思う：23名
- ・まあまあそう思う：8名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



## I-9-2) フィールド科学演習一般についての受講者の意見

大多数の回答がフィールド演習“一般”についてではなく“今回の演習”に対する感想・要望であった。また、広島大学の学生と他大学の学生では、本演習に対する意見に違いが見られたので両者を分類した。

<回答者数：30名，無回答者数：9名，のべ回答数：41>

《感想》

(他大学学生)

- ・他大学を知ると言う点でこの演習は良いと思う。
- ・他大学の人との交流を通し、意識や感じ方、知識の差などを知ることができた。
- ・他大学の授業内容を知ることができた。
- ・自分と同じ分野に興味を持っている人と仲良くなれた。
- ・自大学で学びたいと考えている視点とは別の視点で「食」を考えることができた。
- ・自分の大学では学べないことも学べ、他大生とも交流できて良い経験になった。
- ・自分の知らないことを学べた。
- ・他大学の方や年の違う方と共同生活をする上で、人間関係が向上できた。
- ・他大学の人と交流でき、他大学でどのようなことが行われているのかを知ることができて良かった。
- ・他大学の人との交流で刺激を受けた。
- ・講義ではなく、フィールドでの体験ができて良かった。
- ・話で聞くだけでなく、体験して感じるできるので良い。
- ・自大学では、できない分野が学べ、体を動かすことで身につくので面白い。
- ・このような実習は、学生にとって非常に必要なことだと感じた。
- ・普段できない体験で、面白かった。
- ・搾乳、人工授精、放牧、解剖など全てが貴重な体験であり、楽しかった。
- ・体験を通じて学べることは多くあるので、良い機会であった。
- ・座学だけでは学べないことなので、とても有意義なものだと感じた。
- ・3，4年生で応募するのは勇気があるので、学年別でのフィールド演習があったら良い。
- ・楽しかったので、もっと取り組みたい。
- ・講義よりも五感で感じられるフィールド演習の方が、より印象深く考えられる。
- ・講義だけでなく、“現場”を見ることは大切なことである。
- ・楽しかった。
- ・初めて知る事ばかりで、体験しないとわからないことがたくさんあると感じた。
- ・楽しいことだけでなく、大変なこともあったが全てが貴重な体験。
- ・知っているだけと、実際にやってみるのでは違う。体験した方が、わかりやすく感じ、記憶に残りやすく、楽しかった。
- ・プレゼンテーション作りがバタバタしたので、もっと日程を増やしてほしい。
- ・初めての体験ができたり、様々な先生の考えや問題の見方を学んだりできた。
- ・フィールドに出て学べることは多いと思うので、どんどん実施してほしい。しかし、効率や安全のためにある程度の知識が必要であるので、講義をしてから外へ出た方が良い。

- ・フィールド演習では、普段できないことが体験できることが魅力である。
- ・大学の授業の一環ではあるが、職員の方や先生方が協力的であった。
- ・自分の知識を増やしたり、まだまだ知らないことがたくさんあると気付くことができた。
- ・自大学ではできない体験ができて良かった。
- ・話を聞いたり、写真やビデオで見るのとは違い、五感を使って様々なことを感じ、考えることができるので、農学をより身近に感じた。

(広島大学学生)

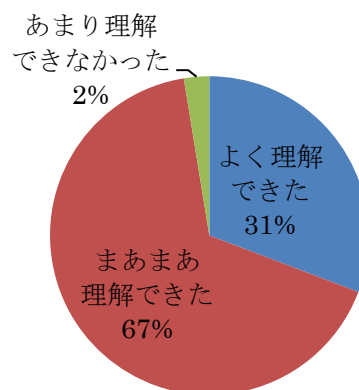
- ・どうしても授業と重複する部分が多かったので、もう少し自大生も初めての体験があると良かった。
- ・体験する機会を学校側から与えてもらえるのはうれしい。
- ・もっとうこう言った体験を増やしてほしい。
- ・机の上では学べないことを学べる良い機会。
- ・農場実習と重なる部分が多かったので、違った体験をしたかった。
- ・自由に農場内を散策できる時間がほしい。
- ・もう少し学生同士の交流の場や自由時間がほしかった。

## II 授業に関する質問（この演習は、講義、実習、発表等から構成されている）

### II-1 【今回の講義に関する質問】

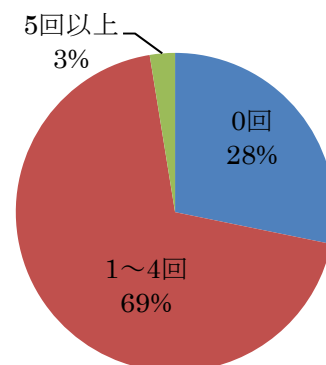
#### II-1-1) 講義内容について

- ・よく理解できた：12名
- ・まあまあ理解できた：26名
- ・あまり理解できなかった：1名
- ・全く理解できなかった：該当者なし



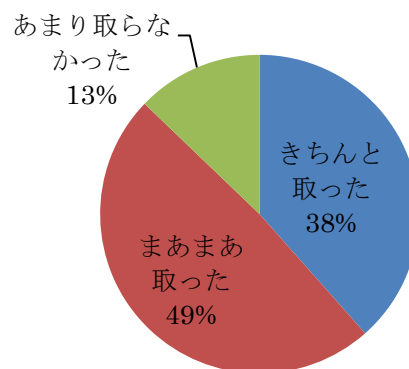
#### II-1-2) 講義の内容について教員や補助者に何回、質問をしたり、意見を述べたりしたか

- ・0回：11名
- ・1～4回：27名
- ・5回以上：1名



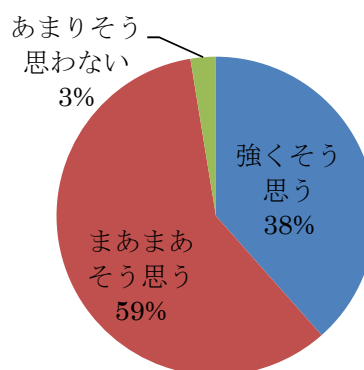
### Ⅱ-1-3) 講義のノートやメモを取ったか

- ・きちんと取った：15名
- ・まあまあ取った：19名
- ・あまり取らなかった：5名
- ・全く取らなかった：該当者なし



### Ⅱ-1-4) 講義内容は、この授業全体や実習の意味や目的、内容を理解させるものでしたか

- ・強くそう思う：15名
- ・まあまあそう思う：23名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし

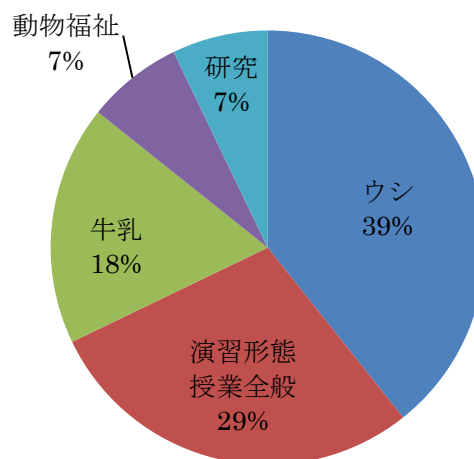


### Ⅱ-1-5) 講義のどのような部分が面白かったか

<回答者数：34名，無回答者数：5名，のべ回答数：36>

#### 《ウシについて》

- ・実際に顕微鏡を使って見たり、人工授精をする現場を見ることができたこと。
- ・牛の品種がたくさんあるということを知った。
- ・解剖や顕微鏡での観察。
- ・ウシの様々な品種の写真が見られたこと。
- ・ルーメンの観察。
- ・ウシの子宮を実際に見たこと。
- ・ウシの内臓を観察したこと。
- ・ウシの遺伝的特徴の模式図。
- ・ウシの生殖器の解剖。
- ・自給率の話。
- ・胃の微生物について。



#### 《演習形態や授業全般》

- ・全体的に面白かった。
- ・実習。
- ・いろいろなものを実際に見ることができた。
- ・知らないことを詳しく教えてもらえた。
- ・講義だけでなく、実習があったこと。

- ・知らないことを知れたこと。
- ・新しい知識を身につけられた。
- ・ウシの苦勞など知らなかったことを知り、興味深かった。

#### 《牛乳について》

- ・バター作りなどの実習。
- ・牛乳の表示の違い、草からウシの体内での物質変化、牛乳のホモジナイズド加工など。
- ・牛乳の加工を学んでから、バター作りをしたので楽しかった。
- ・水と牛乳の値段の比較など、身近な食と農の視点を知ることができた。
- ・牛乳を作るために必要な飼料や苦勞について知ることができた。

#### 《動物福祉について》

- ・動物福祉という考え方を知った。
- ・ヒトの福祉と動物福祉の話が印象的で、「幸せ」や「自由」について考えるきっかけとなった。

#### 《研究について》

- ・農学の研究について知ることができた。
- ・各先生の研究について知ることができた。

#### 《広大生の意見》

- ・授業の復習ができた。
- ・講義と実習があったこと。
- ・世界と日本の飼料問題について。
- ・授業の復習できた。
- ・バター作り。
- ・実際に人工授精を見ることができた。
- ・いろんな動物の写真を見ることができた。
- ・実際と関連している点。

#### Ⅱ-1-5) 講義のどのような部分が理解しにくかったか

<回答者数：27名，無回答者数：12名，のべ回答数：27>

#### 《飼料》

- ・飼料栄養素の消化吸収は難しかったが、面白かった。
- ・飼料栄養素の消化吸収のところ。

#### 《生殖》

- ・生殖の話。
- ・子宮を使った模擬人工授精が、上手くできず実際のウシに行う場合の雰囲気がかめなかった。

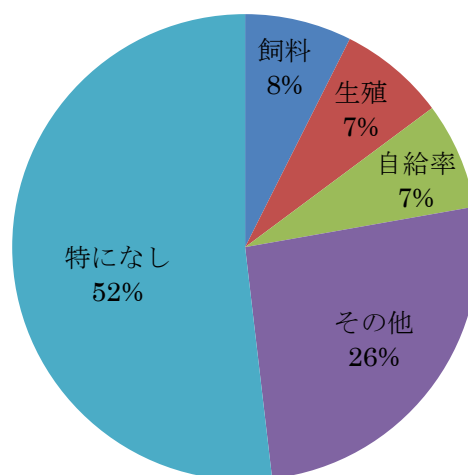


### 《食料自給率》

- ・自給率やバーチャルウォーターの話。
- ・自給率の問題。

### 《その他》

- ・専門分野でスピードが速いところ。
- ・QOLについて。
- ・QTL解析について。
- ・化学的な専門分野。
- ・動物福祉と輪廻転生の関係。
- ・テキストが少なかった。
- ・聞くよりも見た方がわかりやすいことは、先に見せてほしい。

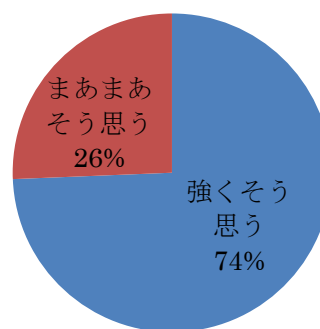


### 《特になし》 14名

## Ⅱ-2 【今回の実習に関する質問】

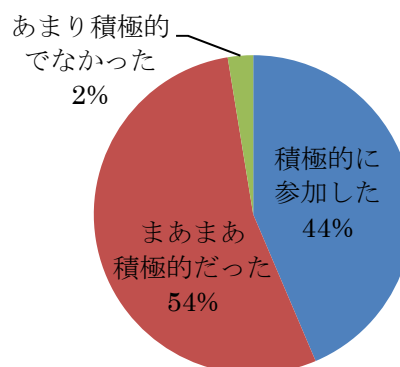
### Ⅱ-2-1) 実習は面白かったか

- ・強くそう思う：29名
- ・まあまあそう思う：10名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



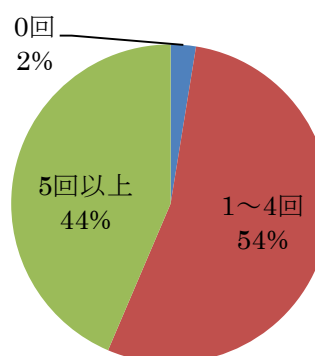
### Ⅱ-2-2) 実習にどのように参加したか

- ・積極的に参加した：17名
- ・まあまあ積極的だった：21名
- ・あまり積極的でなかった：1名
- ・全く積極的でなかった：該当者なし



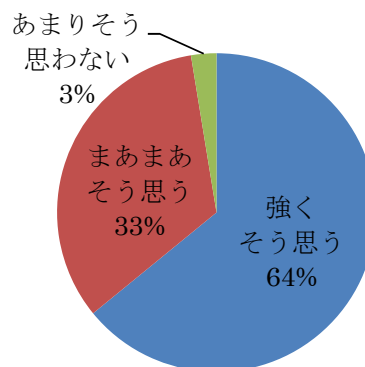
### Ⅱ-2-3) 実習の際、教員や補助者に何回、質問をしたり、意見を述べたりしたか

- ・0回：1名
- ・1～4回：21名
- ・5回以上：17名



## Ⅱ-2-4) 実習があることによって講義内容を理解できるようになりましたか

- ・強くそう思う：25名
- ・まあまあそう思う：13名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし

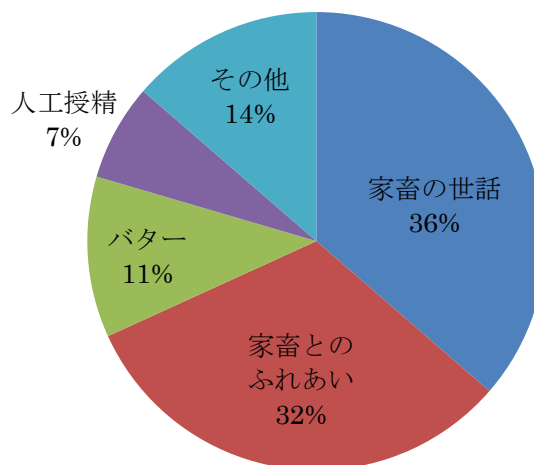


## Ⅱ-2-5) 実習で面白かったのはどのような点か

<回答者数：38名，無回答者数：1名，のべ回答数：43>

### 《家畜の世話》

- ・搾乳の流れを理解できた。
- ・ブラッシング、放牧、除糞
- ・搾乳
- ・嫌な仕事も楽しい仕事も両方、経験できたこと。
- ・搾乳をして、これが本来の酪農だと感じた。
- ・搾乳、直腸検査、除糞
- ・裏方（除糞など）の仕事ができたこと。
- ・除糞が意外と楽しかった。
- ・ウシの放牧。
- ・除糞は達成感があり、ウシに触れることができたので良かった。
- ・搾乳や放牧など、食と農の現場を体感できた点。
- ・農場で行われている様々な作業を体験できたこと。
- ・実際に動物に触れて、上手くいかないことも体験できたこと。
- ・一通り、全ての作業を体験できたこと。
- ・集牧作業
- ・放牧



### 《家畜とのふれあい》

- ・動物とのふれあい
- ・動物とのふれあい。
- ・ウシに突進されるなど非日常的な体験。
- ・ヤギ、ウシ、ヒツジとふれあえたこと。
- ・搾乳や除糞など直接、ウシとふれあえる実習。
- ・子ヤギやヒツジとのふれあい。
- ・搾乳で実際にウシとふれあえた。
- ・ブラッシング。

- ・実際に動物にふれあえたこと。
- ・子ヤギを抱いたこと。
- ・子ヤギに触れたこと。
- ・除糞はウシとの距離が近く、楽しかった。
- ・放牧したヤギやウシとふれあうことができた。
- ・放牧でたくさんの動物とふれあえたこと。

#### 《人工授精と生殖器》

- ・人工授精や解剖を通して、新しい視点で食について考えることができた。
- ・人工授精の現場は刺激的で、勉強になった。
- ・ウシの生殖器を見たこと。

#### 《バター》

- ・バター作り
- ・搾乳とバター作り。
- ・バター作りとブラッシング。
- ・バター作りとエサやり。
- ・バター作り。

#### 《その他》

- ・全て
- ・ウシの排便を間近で見られたこと。
- ・ある程度、仕事を任せてもらえたこと。
- ・TMRに関する実習。
- ・TMR作り。
- ・全部。

### Ⅱ－２－６）実習で改善してほしいのはどのような点か

<回答者数：27名，無回答者数：12名，のべ回答数：27>

#### 《時間》

- ・少し内容が多すぎた点。
- ・ひまな時間が多かった。
- ・もっと実習の時間を増やしてほしい。
- ・実習は午前か午後にまとめてほしい。
- ・待ち時間が長い。
- ・タイムスケジュールに余裕がなく、時間厳守を呼びかけるべき。

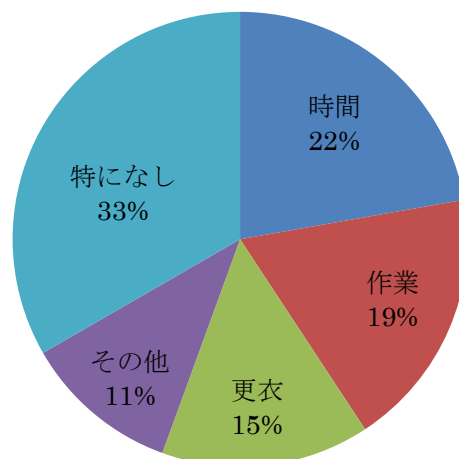
#### 《作業》

- ・飼育作業の前に作業の説明がなく、何をしていたかわからなかった。
- ・朝と夕で作業の内容が異なり、経験できない作業があった点。

- ・ 広大の実習でやっていないことを増やしてほしい。
- ・ 朝の作業と夕方の作業に違いがあること。
- ・ 全ての体験を皆が同じように受けられなかったこと。

#### 《更衣》

- ・ つなぎを洗いたかった。
- ・ できればつなぎを洗いたかった。
- ・ 着替えの回数が多かった。
- ・ 女子が多かったので、更衣室はもっと広いところ良かった。



#### 《その他》

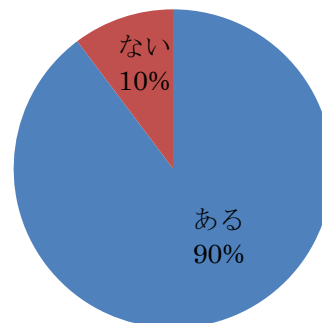
- ・ 人数が多くて、後ろの方は見えないこともあった。
- ・ 大人数の時は声が聞こえなかったので、何回か説明を繰り返してほしい。
- ・ 講義を朝一番にして、更衣の回数を減らしてほしいです。実習後の座学は眠気を誘います。

#### 《特になし》 9名

### II-3 【今回の発表会に関する質問】

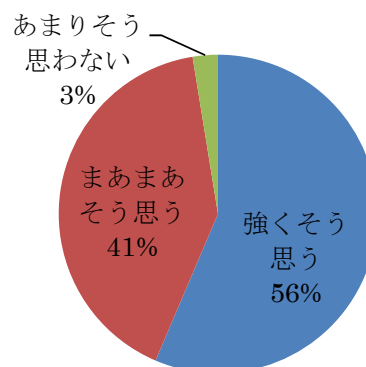
#### II-3-1) これまでに発表会の経験があるか

- ・ ある：35名
- ・ ない：4名



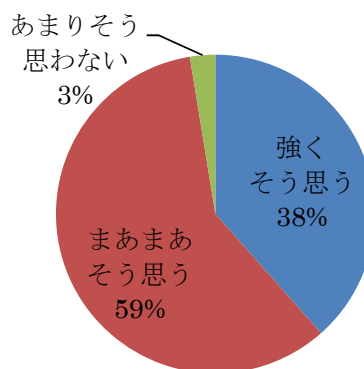
#### II-3-2) 発表会は大変苦労したか

- ・ 強くそう思う：22名
- ・ まあまあそう思う：16名
- ・ あまりそう思わない：1名
- ・ 全く思わない：該当者なし



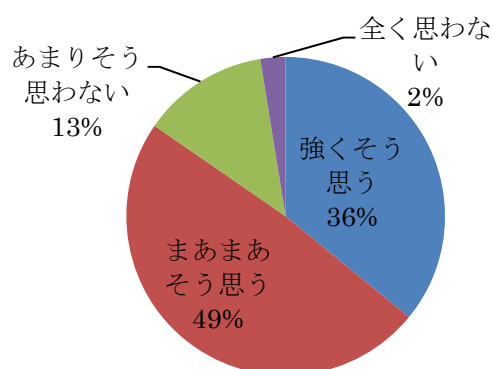
### Ⅱ-3-3) 発表のチームワークは上手くできたか

- ・強くそう思う：15名
- ・まあまあそう思う：23名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



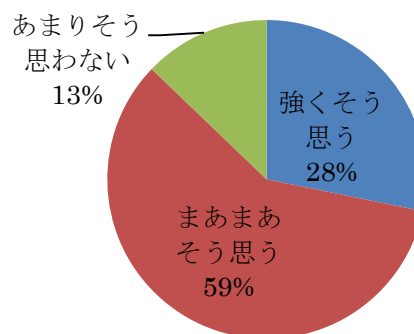
### Ⅱ-3-4) 発表内容に満足しているか

- ・強くそう思う：14名
- ・まあまあそう思う：19名
- ・あまりそう思わない：5名
- ・全く思わない：1名



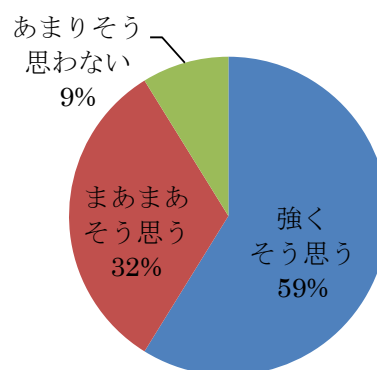
### Ⅱ-3-5) 発表のための基礎的な手法が身に着いたか

- ・強くそう思う：11名
- ・まあまあそう思う：23名
- ・あまりそう思わない：5名
- ・全く思わない：該当者なし



### Ⅱ-3-6) 発表会をすることで、講義や実習内容がより理解でき、有意義だったか

- ・強くそう思う：20名
- ・まあまあそう思う：11名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：該当者なし

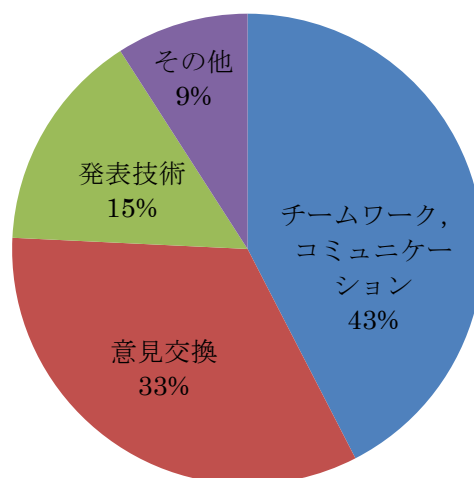


## Ⅱ-3-7) 発表で良かったのはどのような点か

<回答者数：32名，無回答者数：7名，のべ回答数：33>

### 《チームワーク、コミュニケーション》

- ・最初はどのような話をしているかわからなかったが、そこから1つの形になる経験ができて良かった。
- ・皆違う大学で、最初は遠慮しながらもあったが、だんだん自分の意見を言えるようになって、積極的にできた。
- ・1班、4～5人で皆意見を言うことができたり発表することができたりとちょうど良い人数だった。
- ・発表会の準備をするために、グループ内でいろいろな会話ができる点。
- ・チームワークが良かった。
- ・他大学の学生とコミュニケーションが多くとれた。
- ・チームで役割を決めて、効率よく進めることができた。
- ・班で協力してできた
- ・他大学の学生とコミュニケーションがとれた点。
- ・コミュニケーションをとるときかっけになった点。
- ・班員全員の意見が出せたこと。
- ・たくさんの班員の皆とディスカッションできた。
- ・皆で話し合いながらできたこと。
- ・班のみんなと仲良くなれた。



### 《意見交換》

- ・各班が様々な方向から課題にアプローチしていて、考える。
- ・いろいろな視点があることを再確認できた。
- ・いろいろな考えを見聞きできた。
- ・4日間、同じ経験をしてきた中で、考えや感じたことを互いに知り合えてよかった。
- ・他のクループの観点が様々で、新しい発想を聴くことが面白かった。
- ・他の班の発表内容も気になっていたのので、発表を聞いて、いろいろな発表の仕方があると思った。
- ・いろんな人の意見が聞けたり、自分とは違う意見を持っている人と話せた点。
- ・同じ実習をしたのに、それぞれの班で異なった意見や感想があったこと。
- ・それぞれの発表形式があって面白かった。
- ・同じテーマや体験でも、いろいろなことを感じる人がいることを知った。
- ・いろんな分野の人の意見を聞くことができた。

### 《発表技術》

- ・ブレインストーミングが役に立った。
- ・プレゼンの力が身についた。
- ・ブレインストーミングやKJ法などのグループでの発表の仕方、教わったことがすごくためになった。
- ・2日間でパワーポイントが満足いく作品になって良かった。

- ・パワーポイントを使うことで、わかりやすくなる。

#### 《その他》

- ・時間のくぎりがはっきりとされていて、発表会がスムーズにながれていた印象が残った。
- ・内容理解。
- ・実習の振り返りができるし、プレゼンがあることで普段、気にしないことにも注意をむけられたと思う。

### Ⅱ-3-8) 発表で改善したほうが良いと思われるのはどのような点か

<回答者数：26名，無回答者数：13名，のべ回答数：26>

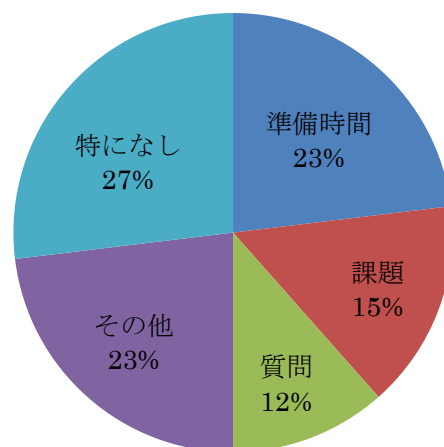
《準備時間》 ※「準備時間が少なかった」という回答が6件あった。

#### 《課題》

- ・内容が似てしまう部分があったので、テーマを複数与えてほしかった。
- ・課題の内容が漠然としていたので、もっと簡易なものが良かった。
- ・発表課題をもう少し具体的にしてほしい。
- ・テーマが抽象的でプレゼンのまとめが難しかった。

#### 《質問》

- ・あまり質問ができなかったこと。
- ・自分もあまりできなかったが、もっと積極的に質問した方がいいと思った。
- ・質問があまりできなかった。もっと盛り上がるプレゼンになれば良かった。



#### 《その他》

- ・パソコンを使えるのは結局1人なので、他の人の手が余った。
- ・点を付けるならちゃんとつけて公表してほしい。
- ・原稿を見ずに発表する。
- ・リーダーは決めない方がいい。結局、本当のリーダーはその場で決まるし、一番年上の方が皆やりやすいから。
- ・私たちの班は自分の発表部分を各自で考えるという形だったので、自分のところ以外は頭に入っておらず、このやり方は失敗だったのではないかと思った。
- ・時間内に納めること。

《特になし》 7名

## Ⅱ-4【今後の食農フィールド科学演習についての質問】

### Ⅱ-4-1) この演習についての良い点や改善すべき点等の感想

<回答者数：30名，無回答者数：9名，のべ回答数：34>

#### 《改善点・要望》

- ・寝る班は同じ大学の人にしてほしかった。ずっと気が張っていて疲れたので。
- ・少し予定がびっしりで大変でした。夜の発表準備も少し時間が短かった。
- ・仕方がないが、少しスケジュールが詰め詰めだった。
- ・講義の時間を長くしてほしかった。
- ・もっとバターが食べたかった。
- ・涼しくなる期間での実習の方がいいと思った。
- ・ご飯の量がもう少し少なくても良かった。
- ・良い点は先生が優しくていろんなことが聞けたこと。
- ・バターだけでなく、他のものも作ってみたかった。
- ・活動と活動の間が長かったり短かったりした。
- ・男女比を考慮してほしい。
- ・カレーが美味しくなかった。給仕当番制にすべき。
- ・今回は2日間だったので我慢できたが、夏場なのでやはりつなぎは洗いたい。
- ・パンや麺類も食べたかった。量が多めだった。
- ・もっと交流会を増やしてほしい。
- ・食事をもう少しいいものにしてほしかった
- ・カレーが辛かった。毎食、白米には飽きた。
- ・広大生には2回目のことが多かったので、もう少し新しいことをしたかったです。
- ・洋食が食べたかったです。
- ・風呂は女子が多く時間が足りなかった。

#### 《良い点》

- ・牧場をフル活用して、様々な体験をさせてもらったのが良かった。
- ・技術職員の方たちから、作業のやり方やその他詳しい話を直接聞くことができたので良かった。初めてのことも多く、すごく良い経験になった。
- ・とても楽しかった。参加して良かった。ありがとうございました。
- ・楽しかったです。ありがとうございました。
- ・皆さんとても良い人ばかりでよかったです。
- ・他大生との交流ができ、いろいろな学校の特徴が知れた。
- ・交流ができた良かった。
- ・この演習に参加して本当に良かった。他のフィールド科学演習にも参加したい。
- ・他大生と交流できたこと。
- ・全て楽しかった。
- ・今まで持っていたイメージと実際とのギャップを感じられてよかった。
- ・スケジュールはハードなところがあったけど、充実していてよかったです。
- ・大学生は3食しっかり食べることがないので、ちゃんとした食事ができるのはいいと思った。